

令和4年度 第3回 霧島市ふるさと創生有識者会議

開催日時	令和5年2月16日(木) 10:00~10:50			
開催場所	国分公民館3階 大会議室			
出席者	有識者	本田 泰寛 委員長、川東 千尋 副委員長、久留須 美鈴 委員、 橘木 真由美 委員、泉 仁志 委員、武田 和大 委員、斑目 信行 委員、 中村 有佐 委員、村上 和 委員、田間 美沙緒 委員、鶴ヶ野 未央 委員、 蘆田 慶子 委員 (全15委員中12人が出席)		
	霧島市	地域政策課：今村 主幹兼中山間地域活性化G長 DX推進課：三善 主幹兼DX戦略G長、大谷主任主事 商工振興課：住吉 商工振興課特任課長、西村 主幹兼商工観光政策G長 観光PR課：富久 主幹兼PR推進G長 市民活動推進課：山口 道義高揚推進室室長兼市民環境政策・国際交流G長 保健福祉政策課：森山 主幹兼政策G長 子育て支援課：小橋 主幹兼子ども・子育てG長 健康増進課：上小園 主幹兼保健予防G長 農政畜産課：内村 主幹兼農林水産政策G長 建設政策課：笛田 主幹兼政策G長 教育総務課：山内 教育政策G長		
	事務局	出口 企画部長、上小園 企画政策課長、藤田 主幹兼企画政策G長、 川床 企画政策Gサブリーダー、藤山 主査		
公開・一部非公開又は非公開の別		公開	傍聴人数	0人
会次第 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 次期総合戦略について 資料1 、 資料2 4 その他 参考資料 5 閉会				
議事等の概要 ④：委員 ⑤：事務局 (1) 次期総合戦略について → 事務局(企画政策課)から「次期総合戦略について」、資料1及び資料2に基づき説明。 委員からの主な質疑等は次のとおり。				

- ㊦ 資料2の3ページ(5)④について、子育て世代の女性の負担が大きいこと等についての記載があるが、背景にある性別による固定的な役割分担意識や性差に関する偏見といったことを考えると、女性に限定しない表現とした方がよいのではないかと感じた。
- ㊦ 資料2の3ページ(5)②について、「地域おこし協力隊員や遊休不動産を活用し」とあるが、人と物を併記することに違和感がある。「地域おこし協力隊員の活動や遊休不動産の活用により」等としてはどうか。
- ㊦ 資料2について、学校の現場で問題になっている学校にいけない不登校の子どもの居場所づくりに関する記載がないため入れてはどうか。
- ㊦ 学校にいけない子どもが集える場所を作っている団体の方達と話す機会があり、不登校の中学生が行ける場所はあるけれども小学生が行ける場所がないということで、平日に親子で集まって子どものやりたい活動をしようとして取り組んでいると聞いた。平日の街中に子どもがいると「学校はどうしたの」等と思われるので居づらいため、今は溝辺のこもれびの森等に集まっているとのことだった。保護者の方からも、子どもの居場所づくりに市にもっと取り組んでもらえたらという声を聞いた。
- ㊦ 資料2の記載内容については、いただいた意見等を踏まえ再度検討したい。
- ㊦ 資料1の4ページに「まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数」がKPIとして設定されている。現状の349団体から650団体に増やすという目標だが、支援の枠を増やしたり、支援の基準を幅広にするといったことも行うのか。
- ㊦ まずは、自治公民館等の自治組織に支援制度について知っていただき、活用数を増やし、地域の活性化を図っていきたいと考えている。支援制度の運用面についても、複数の団体での申請に対応できないかなど、活用しやすいように改善を検討していきたい。
- ㊦ 349団体から650団体に増やすということで、倍近くに増やすように見えてしまうが、349団体という現状値は、コロナ禍によって活動が制限又は縮小していた影響もある。

<p>④ 資料2の4ページの3⑤について、大学等卒業時の市内就職率を総合戦略のKPIに追加しているので、高校卒業時だけではなく大学卒業時も含めてはどうか。</p> <p>⑤ 大学生は市外から進学している生徒も多いため、地元就職率ではなく、市内就職率とするなど、表現を工夫して追記できないか検討したい。</p>	
<p>会議資料</p>	<p>会次第</p> <p>資料 1 第3期霧島市ふるさと創生総合戦略（案）</p> <p>資料 2 後期基本計画（素案）に係る答申（案）</p> <p>参考資料 デジタル田園都市国家構想交付金について</p>